

編 集 後 記

◆きべりはむし第30巻第1号をお届けします。

兵庫昆虫同好会もとうとう結成以来30年目を迎えました。今後ますます発展できますよう会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

◆平成2001年度、兵庫県立人と自然の博物館と兵庫昆虫同好会の共同企画として、六甲山の昆虫相調査を実施しました。最初は、とくに30周年ということは意識していなかったのですが、話が進むうちに30周年記念号の特別企画に調査結果の報告がふさわしいのではないかということになり、今回、特集を組んだ次第です。この六甲山の報告及び関連報文が加わり、なんと100ページを超える大冊になりました。

◆会員以外の方の報文も入っていますが、これを機会に昆虫好きの人たちのネットワークが広がっていけば嬉しいことです。今年度もこのタイアップは継続し、大河内町の砥峰高原をターゲットとして、月1回の調査を実施する予定です(詳しくは「兵昆通信No.5」をご覧ください)。

◆近い将来、絶滅が心配されているオオミノガの調査結果が報告されました。少し前はどこでも見ることのできた馴染みの昆虫ですが、本当にみるみる減少しているようです。オオミノガの減少は、環境破壊という人為的な要因とは言い切れず、ある意味では不可抗力的な要素が色濃いのですが、今後の経緯を見守りたいと思います。

◆今回はこれまで弱い分野であったハチ関係の報文が加わり、バラエティーに富んだ内容となりました。本会では、兵庫県の昆虫相説明を目的としています。これまであまり報告されていなかった分野にも積極的にチャレンジしていただければ幸いです。

◆甲虫では、内藤氏、稲畑氏、山本氏、松尾氏から貴重な採集データを報告していただきました。事務局では、兵庫県産昆虫のデータベースづくりに取り組んでおり、蝶・蛾に続いて甲虫のデータ収集にとりかかったところです。現在は、過去の本誌に発表された記録を中心に整理しているところですが、より精度の高いデータベースを作成するため、甲虫のデータ集積について皆様のご協力をお願いいたします。

◆次回の「きべりはむし」の発行は2002年11月です。締切は9月末日ですが、原稿は常時受け付けています。e-mailでも原稿を受付けていますので、気軽に御一報ください。短報はメモ程度でも結構です。

(編集担当 高島 昭)

きべりはむし 第30巻 第1号

2002年5月25日発行

発行： 兵庫昆虫同好会

編集： 近藤伸一・高島昭

事務局,原稿送付先：

〒671-2201 姫路市書写2542-2 高島 昭 方
e-mail akira-takashima@mti.biglobe.ne.jp

郵便振替口座： 01170-3-26646

印刷： 岩峰社・東京